様式１

栃木県フロンティア企業認証申請書

令和　　年　　月　　日

栃木県知事　　　　　　　　　様

（企業名）株式会社栃木工業

（代表者名）栃木　太郎

フロンティア企業としての認証を受けたいので、栃木県フロンティア企業認証・支援実施要綱第４条第１項の規定に基づき申請します。

１　企業の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 〒320-8501栃木県宇都宮市塙田１丁目１番２０号　　　TEL　028-623-3249　FAX　028-623-3945 |
| 業種 | 業務用機械器具　　*※別紙の“日本標準産業分類（中分類）”より選択* |
| 設立年月日 | 令和元年１月１日 | 資本金 | 1,000万円 | 従業員数 | 100名 |
| 連絡先等 | 　（担当所属）総務課　　　　　　　（担当者氏名・職名）課長　栃木　次郎　　（内線）（E-mail）frontier@pref.tochigi.lg.jp (URL) http://www.pref.tochigi.lg.jp　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

２　申請に係る技術・製品の概要等

|  |
| --- |
| 技術・製品の名称　*※30文字以内で記載* |
| ○○××△△装置 |
| 開発目的（制作までのストーリー）、利用分野等 |
| ○○の××を△△するための装置が医療関係者からニーズがあり、開発したものです。 |
| 技術・製品におけるSDGs達成との関連性 |
| SDGs達成に資する目標　　　*※別紙の“SDGs17の目標”より選択（複数選択可）* |
| ３　すべての人に健康と福祉を　９　産業と技術革新の基盤をつくろう　12　つくる責任・つかう責任 |
| 技術・製品を使用することにより、SDGsの達成に資する理由（SDGs17の目標毎に記入） | 【３　すべての人に健康と福祉を】○○の××を検査する装置であり、◇◇病等の早期発見に繋がります。【９　産業と技術革新の基盤をつくろう】△△を用いて検査することは、業界でも□□の点で先進的なものとなっています。【12　つくる責任・つかう責任】設計上の標準使用期間は○○年間であり、一般的には××年間が多い中、当社では△△の点で工夫を行った結果、装置の長寿命化につながりました。*※数値等を用いるなど、できるだけ具体的に記載すること。**※製造・廃棄過程については、下の欄に記載すること。* |
| 製造過程 | 環境負荷低減に向けた取組 | 本装置の製造で使用するロボットアーム等の機械の消費電力を□□システムを用いて計測しており、工場の稼働状況に応じて電力の供給を最適化しております。 |
| 廃棄過程 | 環境負荷低減に向けた取組 | 本装置は○○部や△△を小型化しているため、従来の製品より□％の廃棄量削減となります。また、リサイクルしやすい材料を使用しており、廃棄の際のゴミの削減を図っています。さらに、本装置は分解しやすい構造となっており、部品ごとに分別し、廃棄することが可能です。 |
| 技術・製品の独自性の状況*※今回申請する技術・製品の性能など技術的な面での独自性について、他社製品との違いなどを数値やデータ等の客観的な事実を用い、できるだけ具体的に記載すること。* |
| 機能・性能面での独自性 | ○○や××といった環境での使用を考慮し、△△の機能を設けました。この機能を設けたことで今まで不可能だった◇◇ができるようになりました。××を検査する装置で□□を取り入れたのは業界初であり、▲▲の効果が期待されます。 |
| 過去認証時からの改良点等*※今回の申請技術・製品が過去に認証されたものと関連する場合は、進歩・改良点等について具体的に記載すること。**過去に認証された技術・製品と同様のものや変更内容が軽微なもの（サイズや色の変更といったマイナーチェンジ）について**は認証対象になりませんのでご注意下さい。* |
| 技術・製品の名称及びその内容 | 前回認証年度：令和２(2020)年度　認証技術・製品名：●●××△△装置●●の××を△△するための装置 |
| 前々回認証年度：平成29(2017)年度 認証技術・製品名：○○△△技術　○○を△△にするための技術 |
| 進歩・改良点等 | *※今回の申請技術・製品が上記に記載したものと関連する場合は、進歩・改良点等について具体的に記載すること。*令和２(2020)年度認証は●●に係る装置であり、今回の申請は○○に係る装置であります。●●を検査する際の△△の仕組みと、○○を検査する際の△△の仕組みでは、□□の点で全く異なるため、改めて開発を行いました。 |
| 特許等の有無*※今回申請する技術・製品について、特許、実用新案、意匠、商標の有無等を記載すること。**未取得の場合は特許等未取得の理由、他社に対する知財の担保方法を記載すること。* |
| 　有　　→　　　特許　　　　　実用新案　　　　　意匠　　　　　商標　特許等の名称：　○○××△△装置　　　　　　　　　　　登録番号：　　特許第＊＊＊＊＊号　　　　　　　　　　　　　　　　　　無　　→　理由、他社への権利侵害への対策理由を記載　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 技術・製品の優位性の状況*※今回申請する技術・製品の市場での優位性について機能やノウハウなどを記載すること。（製造過程を含む）* |
| 機能・性能の今後の成長性・将来性 | 当社の検査装置では、独自に開発した○○システムを導入しており、検査結果を自動で解析します。また、国内ではほとんど導入されていない、△△による加工を行っており、＊＊の加工精度を実現しました。そのため、今後業界市場では大きな成長を見込めます。 |
| 価格等の経済的な面での優位性 | ▲▲により、従来品の＊＊％のコストカットを実現しました。また、一般的な他社製品の相場は＊＊円ほどであり、○○××△△装置は＊＊円でありそちらと比較しても安価となっています。さらに、独自に製作した治具を用いて製造しており、○○××△△装置の納期は、通常の場合◇◇程であり、一般的な装置とくらべて××程の短期化となっています。 |
| 販売及び取引実績（未発売のものは見込みを記載） | ○○の××を検査する装置では、国内シェア＊＊％を達成しております。（△△の統計データより算出）申請技術・製品の販売・取引開始時期　令和３(2021)年　５月申請技術・製品の全販売・取引数 　50　個・件　申請技術・製品の全販売・売上額 150,000千円 |
| 売り上げにおける成長性及び将来性について（販路展開等） | 《今後３年間での売上等の目標》現在、□□があり、本装置の市場での需要が高まってきています。今後予定している設備拡張で、生産数の増加を見込んでおります。１年目：50個　150,000千円　　　　２年目：60個　180,000千円　　　　３年目：70個　210,000円 |
| 法令の許認可等の有無*※申請技術・製品の開発・製造・販売等にあたり法令の許認可等が必要となる場合は、必ず記載をすること。**また、許可証等の証拠書類の写しを提出すること。* |
| （例：医療機器や人体に影響を与えるもの：薬機法、抗菌/防カビ製品：SIAAマーク）・医療機器製造販売業許可（○年□月△日取得）・医療機器製造業登録（○年□月△日登録） |
| 生産管理、品質保証体制の状況*※国際標準化規格等の取得状況についても記載すること。* |
| 誤った部品の取り付け等を防ぐため、QRコードを用いて製品の型番や部品の在庫数を管理しております。○○作業においては、クリーンルーム（Class＊＊）で行っております。【規格等取得状況】　　　　有　　　　　　　　　　無　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　規格名：　ＩＳＯ９００１、１４６４４－１　　　　　　　 |
| 環境配慮の状況*※国際標準化規格等の取得状況についても記載すること。* |
| ○○年に工場・事務所内の照明のLED化、△△年に空調をエネルギー効率の良いものに設備更新、□□年にボイラーの燃料を重油から電気に変更【規格等取得状況】　　　　有　　　　　　　　　　無　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　規格名：　ＩＳＯ１４００１　　 |
| 国や県等による登録、認定・認証、表彰等の取得状況 |
| 「とちぎSDGs推進企業登録制度」について |
| 登録済み　　　　申請中　　　　申請していない | 登録日：登録日：令和4(2022)年7月15日 |
| その他国や県等による登録、認定・認証、表彰等の取得状況 |
| ◇◇主催の「平成＊＊年度ものづくり○○賞」を受賞しました。中小企業庁等が実施している「パートナーシップ構築宣言」に○年□月△日に登録しました。 |
| 県産材の活用や県内企業への受発注の状況について |
| 本装置の○○と△△の部品については、県内の□□関係のメーカーから仕入れています。また、県内の◇◇関係のメーカーに本装置を納品しております。 |
| 地域への貢献に関する取組状況*※貴社の地域貢献活動について、規模の大小に関わらず、必ず記載すること。* |
| 毎週月曜日の朝は、全社員で会社周辺の清掃活動を行っています。次代の「ものづくり技術者の育成」を目的に、地域の学校に教材及び寄付金を贈呈しました。 |
| 係争中の訴訟の有無 |
| 　　　　有　　（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　無 |

３　申請書類チェック項目

　○申請書（様式１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | チェック欄 | チェック項目 | 備考 |
| 1 | ■はい　□いいえ | 栃木県内に主たる事業所を有する中小企業又は本店を置く大企業ですか。 |  |
| 2 | ■はい　□いいえ | 製造業若しくはソフトウェア業を営む者ですか。また、産業分類中分類に基づく業種で記載されていますか。 |  |
| 3 | ■はい　□いいえ | 申請技術・製品の名称は30文字以内ですか。 |  |
| 4 | ■はい　□いいえ | （特許等の有無の欄で“有”と回答した場合）特許等について、出願中ではなく、権利を取得していますか。 |  |
| 5 | ■はい　□いいえ | その他、記載箇所の記入漏れ等は、ありませんか。 |  |

　○提出書類

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | チェック欄 | チェック項目 | 備考 |
| 1 | ■有　□無 | 申請書（様式１） |  |
| 2 | ■有　□無 | 会社概要（パンフレット等） |  |
| 3 | ■有　□無 | 申請に係る技術・製品の概要のわかるもの（技術・製品のパンフレット、図、写真、特許等の出願登録書類、表彰状の写し等） |  |
| 4 | ■有　□無 | 法令等に基づき必要な許可証等の写し【該当する場合のみ】 |  |
| 5 | ■有　□無 | 直近２期分の決算書（貸借対照表、損益計算書）及び経営自己診断システム（※のリンクを参照）の診断結果 |  |
| 6 | ■はい　□いいえ | 添付ファイルの容量は、５MB以内ですか。 |  |

※　①会社概要、②申請に係る技術・製品の概要のわかるもの（技術・製品のパンフレット、図、写真、特許等の出願登録書類、表彰状の写し等）、③申請技術・製品について、法令等に基づき必要な許可証等がある場合には、その写し、④直近２期分の決算書（貸借対照表、損益計算書）及び経営自己診断システム（独立行政法人中小機構運用のホームページ：<https://k-sindan.smrj.go.jp/>）の診断結果を添付すること。

※　この申請書は、フロンティア企業認証のために使用し、それ以外には使用しません。

認証後において、その内容を外部に公開する場合は、事前に貴社の同意を得ます。

* 申請書の記載内容に虚偽等があった場合は、栃木県フロンティア企業認証・支援実施要綱第８条第１項第３号に基づき、認証は取消となります。